

【質問2】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、赴任に当たって不安に感じていたことはありますか。	【質問】 実際に赴任して、その不安は解消されましたか。
大島町	主幹	男	50代	①隣近所とのお付き合いが大変？ ②買い物が大変？ ③小さな子供の医療は？ ④電波が届きにくいのでは？	①教職員住宅に家族4名で生活していますが、プライベートは完全に確保されています。 年に3回ほど、住宅全員で集まり、住宅会議をします。新しい方の紹介、ごみの出し方の確認等を10分ほどで行います。 年に1回、全員で住宅内の草刈りを行います。半日汗をかきますが、子供たちは楽しんでお手伝いをします。 ②車が運転できれば、小さなスーパーも何件もあり、不便に感じたことはありません。手に入らないものは、インターネットで購入でき、翌日～2, 3日後には、ほぼ何でも手に入ります。 ③大きな医療センターがあり、島外同様、特別な診療以外は無料です。若いお医者さんが多いので、多少不安はありましたが、皆さん親身になって(休日も)対応してくれるので、助かっています。 ④赴任時は、PCのネットが遅いと感じたことがありますが、島内にはドコモショップもあり、Wi-Fiを取り付けたら、快適になりました。
大島町	教諭	男	30代	①生活に不便なことはないか。(生活必需品がそろうのか、夜になって買い物は可能かなど) ②人とのかかわりに島嶼ならではのしきたりや、かかわり方の違いなどがあるかもしれない。 ③交通手段など移動で困ることはないのか。	①スーパーは21時までやっているし、宅配便が滞ることもまずないため必要な物は都内と変わらずそろえることができる。 ②まったく心配はいらなかった。助け合い、励まし合う雰囲気がある。島嶼として生き抜いてきた人々ならではの安心感がある。 ③ほとんどが車移動になる。バスを使用する方もいるが、自家用車が必要になる。免許はあるに越したことはない。夫婦であるなら、どちらにも車は必要になる。
大島町	教諭	女	20代	①生活の不便さ →都心部より離れることで、『物』不足 →娯楽施設:映画館や美術館、博物館に簡単に行くことができない ②教員に対する地域の思い →教員=外部の人間:受け入れてもらえるのか不安 教員=高所得者:狭い島の中で生活する→どんな目で私生活を見られるのか	①解消はされないが、それなりに生活することができている。大きな不便は、現在感じていない。 ②地域の方からとても大切にされていると実感。地域の人たちとの関わりが今では楽しい。
大島町	主任	男	30代	何年生の担任になるか分かった時点で、たくさん本を買い込み勉強していたのですが、島だと専門書が手に入れずらい。4月当初に島外へ本を買いに？ 通販？ 都内でも大型店でないと難しいですが・・・	Amazonでも本は買えますが、やっぱり本は手に取って内容を見てからでないと・・・という人にはきついです。なので、あらかじめ本を購入しておくか、気に入っている専門書のタイトル位はメモしておくのがよいと思います。
大島町	教諭	男	30代	コンビニはあるか。病院は大丈夫か。	ほとんど解消。慣れた。 <※ 各島とも、コンビニはありません。大島には、医療センターがあります。>
大島町	教諭	男	20代	食事作り	以前は一人暮らしをしていても、家の近くで食事をするのができた。しかし、島しょに食事をする場所がないため、食事作りをせざるを得ない。現在は慣れ、不自由なく暮らしている。 <※ 内地ほどでは多くはありませんが、飲食店はあります。>
利島村	教諭	女	20代	コンビニやスーパーがなく、不便が多そうなこと	農協や商店の買い物で、きちんと生活できます！ ネットスーパーや通販の利用ができることも、ありがたいです。

【質問2】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、赴任に当たって不安に感じていたことはありますか。	【質問】 実際に赴任して、その不安は解消されましたか。
利島村	教諭	男	30代	不安だったことは、コンビニがないこと、スーパーがないこと、船がつかないこと。	農協で売っている物の中からメニューを考える。ピンポイントでほしいものがあると売っていないことのほうが多いが、季節の野菜があつたりするので、選ばなければ物が手に入る。
新島村	主任	男	30代	生活が大変	学童保育がないので困る。
新島村	教諭	男	30代		不便さを感じることもある。病気やケガが心配
新島村	教諭	男	30代	交通面で島から簡単に出られないのではないかな。	意外と交通の便がよく、土日で都内に行って帰って来られることを知って驚いた。
新島村	主任	男	50代		不安の有無は、自分でどのような生活をしたいか。してきたのかによると思う。
新島村	主任	女	30代	島の人たちと上手にやっていけるのか。	みんな同じ生活で、そのような生活が好きな人は大丈夫。慣れるとよい。
新島村	教諭	男	30代	出産や育児に不安があった。	・島内では出産できないが、支援制度が村で充実している。 ・住宅に子育て世代の方が多く、安心できた。
新島村	教諭	男	20代	島に行くことが初めてだったので、生活が全然予想できなかった。もっと何もないイメージだった。	ネット通販なども届き、必要な物も手に入るし、島の人々が教えてくれたり、助けてくれるので安心して生活できる。
新島村	教諭	女	20代	赴任する前は、自炊もせずにコンビニエンスストアをたくさん利用していたので「コンビニエンスストアがない」ということが不安でした。	実際に赴任して、商店が数件あり、島ならではの弁当や名物を食べることができます。また、時々島でとれた新鮮な野菜や魚をいただくこともあり、自炊することが増え、料理が楽しいと思えるようになってきました。
神津島村	主任	男	30代	買い物等に不便さはないか。	スーパーの他に、インターネットでの買い物を活用している。割と早く届くので、不便さはさほどない。